

## 「世界に誇れる石巻を創ろう」について

今年度の『耕人塾』の大テーマは「世界に誇れる石巻を創ろう」（耕人塾で使う「石巻」は石巻市、東松島市、女川町を含む石巻地域）です。現在 4 つの班に分かれ、それぞれのテーマを何にするかを話し合っています。どのような実践テーマが出てくるか、とても楽しみです。

そこで、「世界に誇れる」ということについて考えてみたいと思います。東日本大震災で、食料を無償で提供するコンビニやガソリンスタンドに何時間も整然と並ぶ日本人の姿が世界から絶賛されました。また、ワールドカップサッカーでゴミを拾うサポーターの姿が地元紙に大きく取り上げられ、世界から注目されました。このような秩序を守る精神や相手を思いやる心は日本人が祖先から受け継いだ世界に誇れるものだろうと思います。

しかし、この日本に対する評価は相対的なものであり、必ずしも日本全体が世界から絶賛される状況ではないと思っています。7 月 10 日の河北新報「声の交差点」に、「ポイ捨てやめ 美しい日本に」という題で、次のような記事が載っていました。「長年にわたり、ごみの不法投棄の巡回に携わっているが、改善には程遠い。(略) 人家の見えなくなる山峡に差し掛かると、コンビニ弁当の空き容器や空き缶、吸い殻などが捨ててある。拾っても 2, 3 日すると同じ所でまた見つかる。(略) 全ての国土が我が家の庭と思い、マナーの向上に努力するべきだと思う。一人一人に美しい国づくりを目指す心が備われば、やがて全世界に誇れる日本が誕生するだろう。(略)」石巻でも郊外に出ると道の至る所にごみが捨てられています。ごみを捨てるということは、自然を汚し、自分のことしか考えない恥ずかしい行為であるということに気づいていないのです。石巻からごみのポイ捨てをなくすことも「世界に誇れる」につながると思っています。しかし、捨てられたごみを拾うことも大切ですが、捨てる人がいなくなるにはどうすればよいかということに取り組むことがより重要です。また、街行く人と明るい挨拶を交わすことや思いやりの心で人に接する輪を広げていくことも「世界に誇れる」の土台になると考えています。その他に、各班からどんな実践テーマが提案されるのか期待しています。

『耕人塾』は月 1 回程度の活動なので、自分たちでできる身近なことをテーマにし、実践を通じて「世界に誇れる石巻」を発信してほしいと願っています。大きなテーマですので、今年度で完結するのではなく、今後の活動のきっかけづくりになれば良いと思っています。班の人たちと協力し、ワクワクした気持ちで楽しみながら取り組めるものだといいですね。

### 「お・も・て・な・し」の心

昨年のブエノスアイレスで開催された第 125 次 I O C 総会で、2020 年夏季オリンピック・パラリンピック開催が東京に決定しました。その中で滝川クリステルさんのスピーチ「お・も・て・な・し」が一躍流行語になりました。「おもてなし」という意味には相手を思いやる、周りが和むような空気をつくる、温かく誠意を持ってもてなすという意味です。「おもてなし」は「世界に誇れる」と相通ずるものがあります。東京オリンピック・パラリンピックまで後 6 年、石巻から聖火をスタートさせたいという構想が話題になっています。世界が注目している聖火の点火をぜひ石巻で実現し、その時を目指して「世界に誇れる石巻」を創りたいですね。